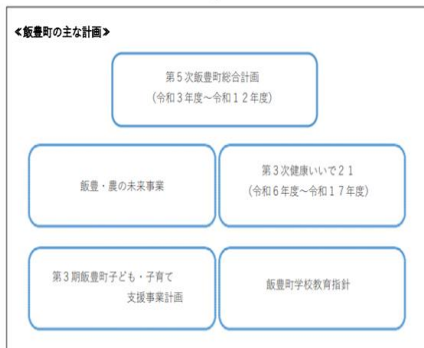
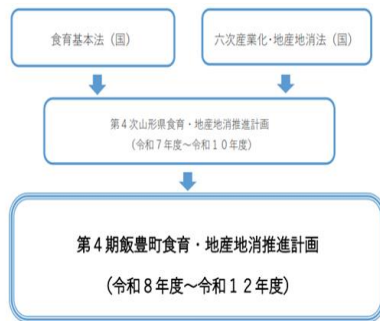


飯豊町食育・地産地消推進計画（第4期）の概要

■計画期間：令和8年度から令和12年度まで

■計画の位置づけ：食育基本法第18条第1項、六次産業化・地産地消法第41条第1項に基づく市町村食育・地産地消推進計画

■その他関連計画



【基本目標】

未来をひらく、飯豊の種
～持続可能な地域を創る、食育・地産地消の力～



飯豊町食育・地産地消推進のための4つの柱

★ライフステージに応じた健やかな食生活の推進★

乳幼児期から高齢期にいたるまで、各ライフステージに応じた食育を推進し、特に若者世代の実践力を強化します。自ら食を管理し、生涯健やかに暮らせる社会の実現を目指します。

★地球にやさしい「いいで」の食システムの構築★

食品ロス削減などで「もったいない」の精神を次世代へ継承します。環境負荷を抑えた持続可能な農業の実践を通じ、飯豊町の豊かな自然を守りながら、地球環境と調和した食のあり方を追求します。

★地産地消を通じた農業活性化と伝統食文化の継承★

飯豊の豊かな自然と農産物を地域で分かち合う地産地消を軸に、安心・安全な食の提供と農業継承を目指します。米沢牛や伝統野菜、伝統料理を地域の資産として捉え、一体となって未来へ引き継ぎます。

★地域の総力を結集した、多様な主体との連携★

町や協議会が連携し、全世代へ食の重要性を伝えます。農体験や料理教室、給食での地場産物活用など、行政と地域が連携し、多角的な交流と伝統継承を通じ、持続可能な食文化を次世代へ確実につなぎます。

飯豊町食育・地産地消推進計画の数値目標

項目	第4期策定時現状値	目標
朝食を食べている町民の割合の増加	幼児 88.0% 小学生 87.0% 中学生 89.0% 30代男性 88.0% 30代女性 93.5%	全世代90%以上
1人あたりの野菜摂取量の平均値の増加	136.3 g/日	350 g/日
地産地消に協力する飲食店の増加	88%	90%
学校給食における地場産物を使用する割合の増加	37.8%	40%以上
1人あたりの学校給食の残菜減少	20.8 g/日	12.25g/日
直売所を年に2回以上利用する割合【新規】	—	80%
町内産の食材や伝統料理を年に2回以上食べる割合【新規】	—	80%